

いざ出陣！

第25回参議院議員選挙勝利に向けて！

今、私たちは何とも言えない「生きづらさ」を感じる気持ちにさせられる中に生きているような気がします。

その原因は何でしょうか。



やはり依然として感じるには、「自分を取り巻く環境や状況が悪いのは、自分のせいだ。」とする自己責任論の空気感ではないでしょうか。

次に感じるのは、「〇〇ファースト」というフレーズがこの4年間よく使われますが、「悪いのは自分ではない。あいつらだ。」というような発想に立ち、人々が支持者と反対者に分断され、排他的に対立し、加えて為政者もその対立を煽っています。その結果、その対立するもの同士の「行き来」(対話・議論)がなくなってしまう、コミュニティーや人間関係が、「分断されている」と感じる空気感です。

さらには、「自分も我慢しているのだから、お前も、お前たちも我慢しろよ。」という一人ひとりの不平・不満を押さえつける不寛容な状況になっています。加えて、不平・不満の解決に向けてきちんと対話できているかという、対話することには億劫になってしまう、そんな懐疑的な空気感もあるようです。

そして、最後には、「どうせ一人で頑張っても」世の中全体は、「どうせ変わらないさ」とか、「とりあえずこのままでいいんじゃないか」という「あきらめ」の空気感があります。

私たちは、この重苦しい空気感を取り除かなければなりません。そのためには、戦後県民・市民によって試行錯誤を繰り返しながら築き上げ、根付かせてきた「多数派の意思を尊重する一方で、個人および少数派の意思も擁護する」「寛容や協力、譲歩、合意形成といったプロセスを何よりも重視する」「困った時には、支え合い・助け合い・お互い様」という価値観に働きかけ、声をかけ、県民・市民が持っている「勤勉さ」「誠実さ」「謙虚さ」「礼儀正しいさ」などを取り戻す闘いが、第25回参議院議員選挙です。



連合大分に結集する構成組織は、単組・支部・分会の役員とともに、一人ひとりの組合員に対して、政治に関わることの意義を伝え、選挙闘争は「自分たちの運動」「自分の闘い」であるということを周知していきましょう。

それと同時に、連合大分 5 万組合員のエネルギーをフル回転させて、「お任せ民主主義」的になっている人たち一人ひとりの有権者に、「日常生活をよくしていくために自分の意思を表明しましょう」「私たちの住む日本を良くしていくために自分の意思を表明しましょう」と「声かけ」「働きかけ」をしていきましょう。

連合大分の選挙は、組織型の選挙です。
「100人の一歩」「5万人の一歩」の選挙戦術で
協力者を30万人獲得していきます。



そして、必ず勝利をします。これが私たちの使命です。ともに最後の最後まで、支え合って、助け合って、がんばりましょう。